

戦雲頻りに動き

最も優勢を謳われた

萩原候補苦戦の叫喚

四全に起る

同時に絶對

萩原落すな

の悲壯なる叫び

期せずして亦全郡を壓す

石城民政の堅壁を守る總ありと聞く即ち同氏を確特師として尙一段、大成の重なる人々は異様の緊張振り大責務を帯び敢然陣頭に立を示し、最後の一分間迄もつた萩原候補は正氣正大戦必勝を期して、榮冠を勝ちの意義に於て尙初より最高得べく悲壯なる覺悟とを以て目され頗る同情の聲随所つて悪戦苦闘中であるが同に充滿してゐた、然るに戰氏に共鳴する政解者の大多雲急を告ぐる白兵戦に入る敢は同氏のため非常な同情や果敢敵軍の巧妙なる戦略を寄せつゝありにより頗る苦境に陥りつゝ、

石川候補の堅陣

政友赤坂氏との取組こそ本郡政戦の白眉であらう

比佐參與官を産んだ湯本榮冠を得るであらう、上遠より再び石川候補を押し立野より出陣せる赤坂氏は心て、縣會にこそ一席を奪はすべからざる強敵ではあんとしてゐる、同氏も決するか政友と民政の獲得票殆て金権候補でない、然し同いご豫想し得るものにして氏を支持する所謂比佐後援當選圏内にあるは論をまた會は堅實なる運動をなしてさるも田子氏の喰入るものゐる、郡南より唯一人立候補せざるを得ずとして運動員は關係から同地の投票は全總の注意のもとに活動を積部同氏の獲得し得ること明行してゐるかなれば相當の投票を得て

本月廿五日縣會議員總選舉を行はる、に際し過般開催の豫選會に於て同志各位の推薦を辱ふし不肖等揃らず立候補を宣することになりました

御承知の如く吾々は永らく民政黨に屬し憲政の神故河野警州先生指導下に悪戦苦闘を續け比佐代議士を中心として終始一貫今日に至つたのであります

今回各位の推舉により幸ひに多數有権者諸君の御賛成と御援助とを賜はり當選の榮を荷ひ得る事が出来ましたならば吾黨の主義政策を奉じ協力一致専ら産業の開發地方費負擔の輕減等縣民福利増進のため渾身の努力を捧げ縣政の上に聊か貢献し以て各位の御期待に背かざる事をお誓ひ致します茲に立候補を宣するに當り所懐を披瀝し有権者諸賢の御同情に懇ふる次第であります

昭和六年九月十日 敬白
立憲民政黨公認縣會議員候補者

- 草野三郎
- 萩原義雄
- 石川德壽

責任者石城郡平町一丁目三四番水盛之助

拜啓益々御清穆奉賀候今回の縣會議員選舉は與黨たる吾黨としては頗る重大意義を有するものに有之候處貴區候補者たる

は何れも終始一貫純潔なる黨員に有之其人格識見に於て縣會議員として最も適任と存候間何卒當選致され候様御同情御援助の程切に御願申上候

昭和六年九月 敬具

立憲民政黨

- 總裁 若槻禮次郎
- 總務 賴母木桂吉
- 常務顧問 富田幸次郎
- 顧問 江木翼
- 安達謙藏
- 町田忠治
- 井上隆三
- 田中隆三
- 小泉次郎
- 原内次郎
- 櫻内幸雄
- 山道襄一
- 大島要三
- 幹事長 福島縣支部長
- 東京市芝區新橋町二十七番地 立憲民政黨本部

拜啓時下初秋の候愈々御清邁の段大賀此事に御座候
儲來る廿五日執行せらるべき縣會議員選舉は本縣縣政上極めて重大なる關係を有する次第に有之本部會は其候補者詮衡に關し衆議に諸り慎重熟慮の結果人格識見共に卓越し而も敢然として清節を全ふしつゝある

- 草野三郎君
- 萩原義雄君
- 石川德壽君

の三名を最適任者と認め茲に公認候補として推薦仕候今回の選舉は本部會としても實に重要な意義を有する所に有之候間願くは微意の存する所を御賢察被下右三君共に大多數を以て當選の榮冠を得せしめらるゝ様御援助を賜はり度切望に堪へざる次第に御座候 敬具

- 立憲民政黨福島縣支部
- 石城部會長 比佐昌平

平町仲町一五責任者吉田五平